



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 太陽工機
コード番号 6164 URL <http://www.taivokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,688	91.6	180	—	174	—	102	—
27年3月期第1四半期	881	27.2	△17	—	△24	—	△18	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	34.93	—
27年3月期第1四半期	△6.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	4,646	2,942	63.3
27年3月期	4,616	2,875	62.3

(参考)自己資本 27年12月期第1四半期 2,942百万円 27年3月期 2,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年12月期	0.00	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	—	870	—	850	—	550	—	187.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成27年12月期は決算期変更の経過期間となることから、通期の対前期増減率につきましては記載しておりません。

なお、平成27年1月1日～12月31日の12ヶ月とした場合の業績予想は、売上高7,930百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,270百万円、当期純利益810百万円、1株当たり当期純利益275円67銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	2,978,200 株	27年3月期	2,978,200 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	39,896 株	27年3月期	39,850 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	2,938,340 株	27年3月期1Q	2,933,707 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績（平成27年4月1日から6月30日まで）が前年同期比で10.6%増加し、内需を中心に受注は好調に推移しております。

こうした状況の中、当社の受注状況も国内、海外ともに好調となっており、受注額は前年同期を大きく上回る高水準で推移しております。国内においては、自動車部品関連企業や産業機械関連企業、工作機械関連企業から、多数の複数台受注を獲得しており、今後も受注の拡大が見込まれます。海外においても、中国、韓国をはじめとしたアジアや米州、欧州等の幅広い地域で現地ユーザーからの新規受注が順調に増加してきております。

製品面では、6月に自動車部品のミッションギア等の量産加工をターゲットとした超生産型の小型立形研削盤「PGV-3」を発表いたしました。本製品は生産性を格段に高めるシステムを搭載するとともに、省スペース化を実現しております。同月に本社工場で開催したプライベートショーではひときわ注目を集め、お客様から高い評価をいただくことができました。

今後は10月に開催されるメカトロテックジャパン2015での新製品の発表に向け、昨年発表した中・大型部品加工用の立形研削盤「CVG」シリーズのラインナップの拡充を推し進めてまいります。

当第1四半期累計期間の受注高は2,331,491千円（前年同期比60.6%増）となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は1,854,594千円（前年同期比80.1%増）、横形研削盤は470,287千円（前年同期比47.2%増）、その他専用研削盤は6,609千円（前年同期比93.5%減）となりました。

生産高は1,585,898千円（前年同期比104.5%増）となりました。うち立形研削盤は1,287,375千円（前年同期比125.5%増）、横形研削盤は240,106千円（前年同期比17.4%増）、その他専用研削盤は58,417千円（前年同期は生産なし）となりました。

売上高につきましては、1,688,571千円（前年同期比91.6%増）となりました。品目別に示すと、立形研削盤は1,358,866千円（前年同期比110.0%増）、横形研削盤は265,095千円（前年同期比19.2%増）、その他専用研削盤は64,609千円（前年同期比457.2%増）となりました。

損益につきましては、営業利益180,741千円（前年同期は17,093千円の損失）、経常利益174,340千円（前年同期は24,026千円の損失）、四半期純利益102,633千円（前年同期は18,868千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて48,015千円減少し、3,329,773千円となりました。これは主に売掛金が362,001千円、繰延税金資産が4,470千円減少したこと、現金及び預金が54,589千円、仕掛品が248,393千円、原材料及び貯蔵品が15,335千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて78,485千円増加し、1,316,909千円となりました。これは主に有形固定資産が77,063千円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて24,716千円減少し、1,026,820千円となりました。これは主に未払法人税等が231,755千円減少したこと、買掛金が58,085千円、製品保証引当金が5,374千円、役員賞与引当金が2,613千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて12,116千円減少し、677,167千円となりました。これは主にリース債務が11,288千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて67,302千円増加し、2,942,694千円となりました。これは主に利益剰余金が67,372千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の業績予想につきましては、好調な受注状況を背景に、本日付で上方修正を行っております。なお、詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	435,358	489,947
売掛金	1,611,321	1,249,319
仕掛品	994,860	1,243,253
原材料及び貯蔵品	222,301	237,637
繰延税金資産	97,568	93,098
その他	17,379	17,517
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	3,377,789	3,329,773
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	699,648	691,989
土地	354,269	354,269
その他(純額)	102,632	187,355
有形固定資産合計	1,156,550	1,233,614
無形固定資産		
投資その他の資産	3,838	3,803
繰延税金資産	3,786	3,556
その他	74,248	75,935
投資その他の資産合計	78,035	79,492
固定資産合計	1,238,424	1,316,909
資産合計	4,616,213	4,646,682
負債の部		
流動負債		
買掛金	375,182	433,268
未払法人税等	303,254	71,499
製品保証引当金	62,405	67,779
役員賞与引当金	19,227	21,840
その他	291,467	432,434
流動負債合計	1,051,537	1,026,820
固定負債		
リース債務	652,365	641,077
その他	36,918	36,090
固定負債合計	689,284	677,167
負債合計	1,740,821	1,703,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	472,960	472,960
利益剰余金	1,735,696	1,803,069
自己株式	△33,594	△33,664
株主資本合計	2,875,391	2,942,694
純資産合計	2,875,391	2,942,694
負債純資産合計	4,616,213	4,646,682

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	881,181	1,688,571
売上原価	631,744	1,179,210
売上総利益	249,436	509,360
販売費及び一般管理費	266,529	328,619
営業利益又は営業損失(△)	△17,093	180,741
営業外収益		
受取手数料	602	238
受取賃貸料	600	600
受取保険金	1,528	-
保険配当金	282	321
その他	276	389
営業外収益合計	3,289	1,549
営業外費用		
支払利息	6,800	5,731
売上割引	967	646
支払手数料	263	313
その他	2,191	1,257
営業外費用合計	10,223	7,949
経常利益又は経常損失(△)	△24,026	174,340
特別損失		
固定資産除却損	1,549	-
特別損失合計	1,549	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△25,576	174,340
法人税、住民税及び事業税	1,421	67,007
法人税等調整額	△8,129	4,700
法人税等合計	△6,708	71,707
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,868	102,633

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。